

「GAFA」「フィンテック」「ギグエコノミー」「ジョブ型雇用」 これらの時事ワード、説明できますか？



上記の4つの時事ワードを100字程度で説明できますか？例えば「フィンテック」は「IT技術を使った新しい金融サービスや商品、また、それらを開発・提供するビジネスのことをいう。スマートフォンを利用したモバイル決済サービスや仮想通貨の取引などが、その一例である。」のような説明ができます。

時事問題は入学試験や就職試験などで取り上げられることもあります。例えば、昨年度の入試において、高崎経済大学経済学部では「AIを特定の仕事について適用すべきか」について、関東学園大学経済学部では「在宅勤務やテレワークなどのメリット、デメリット」についての小論文課題が出題されました。みなさんは新聞やニュースなどで取り上げられていることに関心を持っていますか？高商図書館には『日本と世界の時事キーワード』など、時事問題に関する図書もあります。時事問題に強くなるためには、普段から社会のことに興味を持ち、アンテナを高くしておくことが大切です。

Web試験・Web面接ってどうやるの？

9月16日から今年度の就職試験が始まりました。今回はWeb試験・Web面接について取り上げます。実際にWeb試験・Web面接を受けた3年生に話を聞きました。

Q:試験と面接を受けた場所はどこですか？

A:どちらも学校です。

Q:面接はどのように始まりましたか？

A:Zoomを使って面接をしました。まず、受験者全員が集められ出欠確認をし、その後事前に配布されていた番号をクリックすると、面接官2人、受験者2人の計4人となり面接が始まりました。

Q:面接時間はどれくらいでしたか？

A:30分程度でした。

Q:面接中、気をつけたことはありますか？

A:大きい声で話すように心掛けました。ディスプレイに映る面接官の顔を見て話しました。また、光の加減で顔が暗くならないように座る場所を工夫しました。

Q:Web試験はどのようなものでしたか？

A:時間内に全ての問題に答えなければならなかったので大変でした。

対面での面接よりも緊張感を感じなかったそうです。最初から最後まで座ったまま面接を行うなど、対面での面接と異なる点もあったそうです。今年度、対面の面接は個人面接が多かったそうですが、Web面接であれば集団面接という場合もありますね。来年以降も引き続き、Web試験・Web面接を実施する企業があることも考えられます。参考にしてみてください。



速報!! 全商推薦

4名が全国審査通過

日本大学(商)、立命館大学(経)、國學院大学(経)、法政大学(経)で1名ずつ全国審査を通過しました。審査を通過した人は全商1級を4~6種目取得していました。この後の試験で合格を勝ち取ってください。1・2年生のみなさんも1級合格を目指して、検定対策に励みましょう。

《2学期の全商検定の予定》

10月24日(日)

全商会計実務検定

11月14日(日)

全商珠算・電卓検定

11月28日(日)

全商ビジネス文書検定

12月19日(日)

全商英語検定

